

ゆ や ま
湯山地区

面積：61.16km²
人口：8,846人（高齢化率 30.3%）
世帯数：4,025世帯

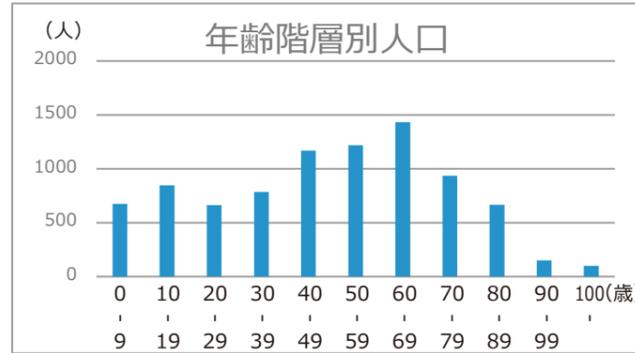


【地区の特色】

湯山地区は、松山市街東部・石手川の流域に位置し、以前はのどかな農山村であったが急速な宅地造成が進んでいる。また、石手川ダム上流の国道317号線沿いに位置する日浦地区は、近年は過疎化、高齢化が進んでいるが、石積みの棚田や彼岸花の自生する自然景観の美しい地域であり、地域全体が一丸となって、ほたるの里づくりなど水源保全地区ならではの活動を続けている。



たけのご掘り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等の参加者が多い ・地域がまとまりやすい ・顔を見るだけで誰かわかる関係ができている ・自然がいっぱい ・たけのこがおいしい ・市内中心部まで近い ・生活がしやすい ・家賃が安い ・出会い（伝統的な近隣の助け合いのしくみ）がある
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・老々介護人口が増えている ・子どもが減っている ・個人情報の問題があり、家庭に入りにくい ・交通が不便である ・バスの便が少ない ・バス停までが遠い ・空き家、空き地が増えている ・坂道が多く、高齢者にはしんどい ・人を集めるのが大変 ・獣害被害 ・出会いの活動が年約10回と少なくなった
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が増え、高齢化率が進んでいる ・60歳以下の人が少ない（日浦地区） ・公共交通機関が少ない（バスの便が少ない） ・運転免許がないと生活できない ・地域によっては、生活関連施設や医療、福祉関連施設がない ・防災に関する不安（避難所に行くまでの不安、避難所の耐震性が不安） ・児童館や高齢者の集いの場がない ・地域を守ろうとする意識が低い

湯山地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館・支所・地区連絡協議会・日浦区長連合会
主な取り組み	活動内容
高齢者見守り活動	独居高齢者に手作り弁当の配布や寝たきり及び認知症の方のお宅を訪問しお見舞金を渡すなど、地区民協と協力し見守り活動を行っています。
世代間交流	小百合保育園の園児と地域の高齢者が歌や工作、一緒に昼食をとるなどし、交流を深めています。
健康講座	健康維持に関する話を聞くとともに、活動を通して地域の絆が深まり、住みやすい地域づくりの推進になるよう開催しています。

夏休み将棋教室（8月）

地域の将棋名人が湯山児童クラブの子どもたちに毎年夏休みを利用して将棋を教えています。ここで将棋を学ぶ子や年々腕を上げる子どもも多く、対局を楽しみにしています。将棋教室を通じて世代間の交流が深まっています。



<地区社協が目指すもの>

湯山地区は、松山市の水瓶となる石手川ダムがある地区で、石手川の流域に集落が点在するのどかな農山村地域です。道後に隣接する地域では宅地造成等が進み、人口増加の傾向にありますが、石手川ダム上流の日浦地区では特に少子高齢化や過疎化が進んでいます。

湯山地区では、地域住民の交流が図れるふれあい・いきいきサロン等を通じて、誰もが安全で安心して暮らせる地域・環境づくりを目指しています。また、災害時の救援活動として行政や諸関係機関・団体等と連携し、要支援者等の把握にも努めています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	15名 2名	■町内会・自治会・区長会等	38団体
	■まち協の設立	平成28年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	5クラブ 8団体 40組織

道後に隣接するエリアから石手川ダム上流エリアまでと、40地区の中で一番面積の広い湯山地区。高齢化や過疎化など、地区内の課題対応とともに、水源保全地区ということで、広く松山のためにも活動を担っている地区です。ここでは、地域の伝統的な近所の助け合いの仕組みとして「出会い」が残っている一方で、30年ほど前に生まれた新興住宅地においても、顔を見ればどこの誰かがわかり、認知症の人を見守るコミュニティが育っています。災害への不安は尽きないものです。自主防災組織数もまた40地区で最多という強みをいかし、現在検討を進めている防災および災害時の救援活動の対策を具体化させることで、住民の不安軽減が期待できます。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区

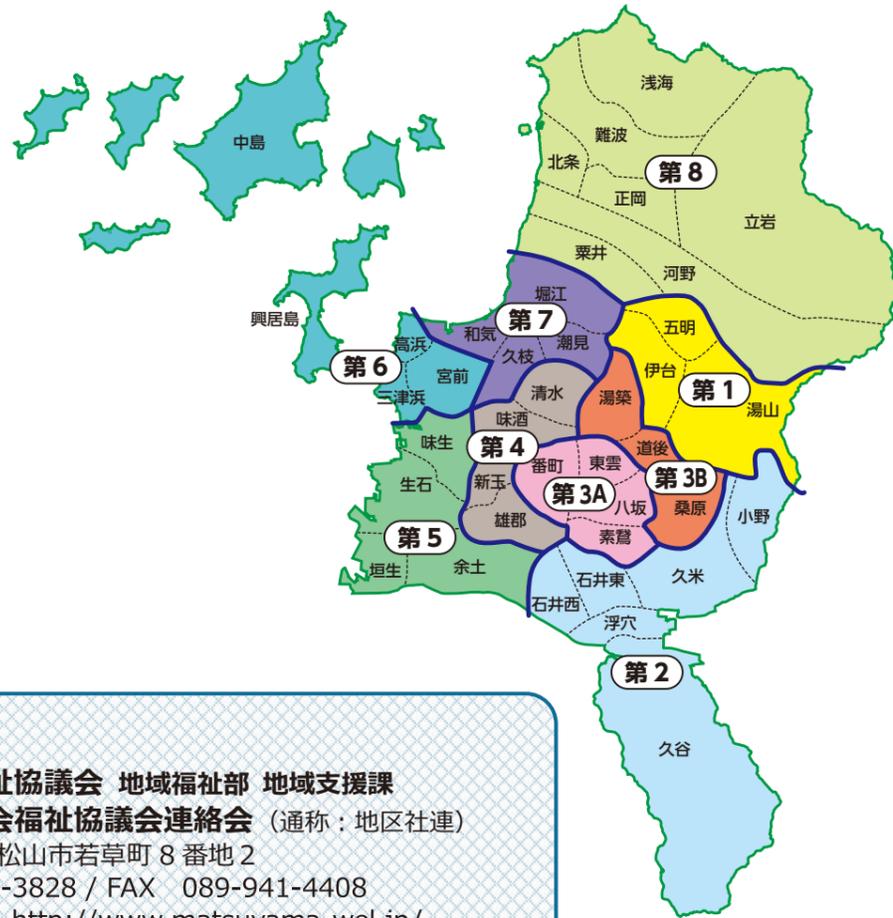
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏